

# 取扱説明書

## 中型切断器

注文コード：06798556

このたびは、中型切断器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

### 1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。  
いずれも安全にお使いいただくためには重要です、必ずお守りください。

**警告** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

**注意** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

#### ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。  
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

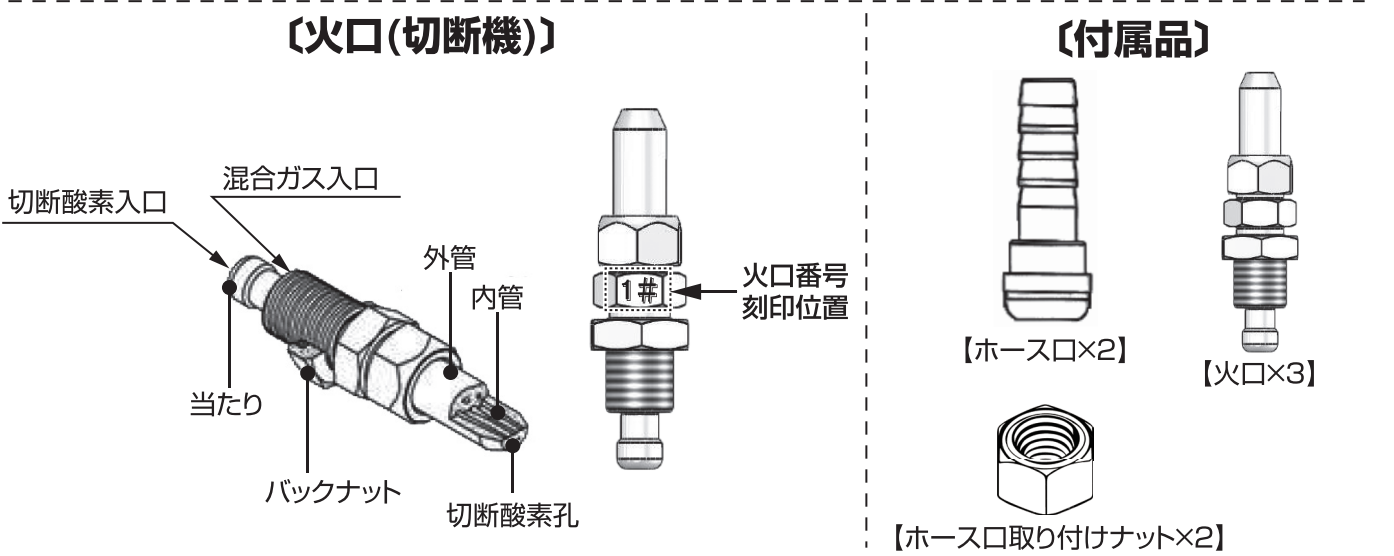
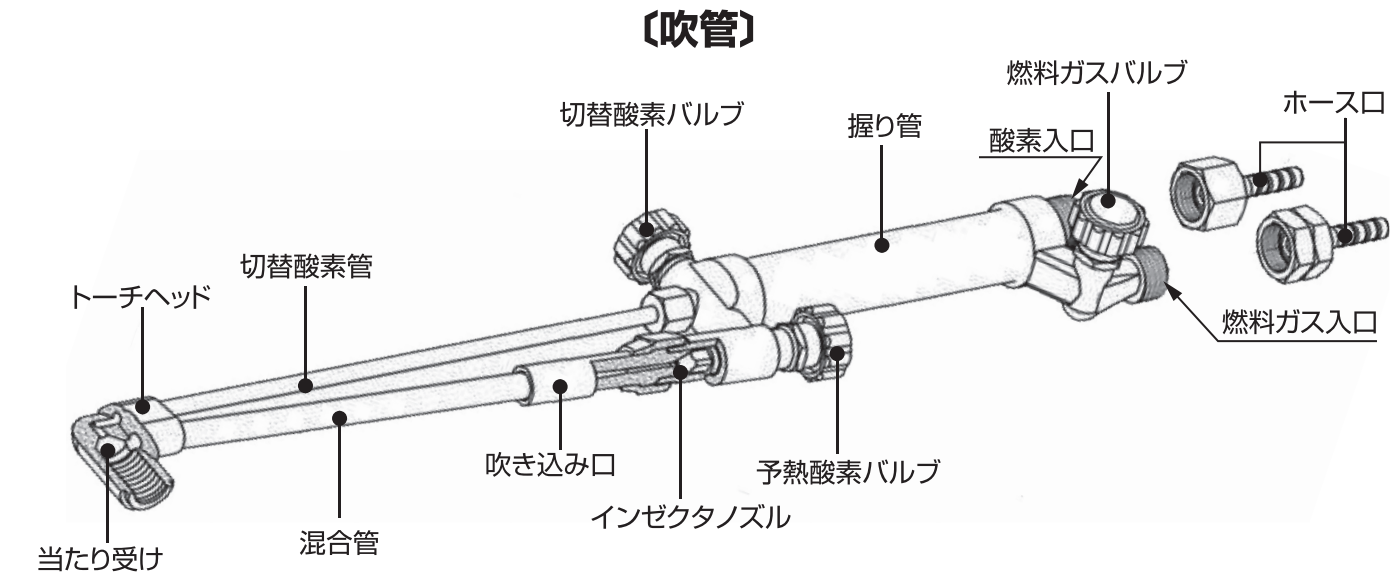
#### 警告

- 本製品を金属の切断以外の用途には使用しないでください。
- 作業時は、換気を十分に行ってください。通風換気の悪い場所での溶接、加熱作業は酸素不足になり酸欠の可能性があります。また、火気のある場所に燃料ガスを放出しないでください。
- 火口の火災、溶接、切断の火花等で着火を起こすおそれのある可燃物が周囲にある場合は、近づけないでください。高所で作業を行う場合、可燃物に火花がかからないよう遠く離れた場所に置くか、遮断物で保護してください。
- ガス溶接用の保護眼鏡と難燃性の作業服・手袋を必ず着用してください。油が付着した作業服、手袋は着用しないでください。
- 損傷、ガス漏れの疑いがある場合は使用しないでください。また、摩耗、ひび割れ等損傷したホースは交換してください。
- 本製品の燃料ガスには、アセチレンを使用してください。他の種類の燃料ガスを使用した場合は逆火等が発生し、危険です。
- 本製品には、潤滑油は不要です。油やグリスは高い濃度の酸素ガスがある場合は、燃えやすくなり着火や火災の危険があります。
- 本製品は、使用圧力範囲内で使用してください。低すぎる場合は逆火の原因となります。高すぎる場合は逆火や爆発および機器の故障につながる危険があります。
- 接続部からガス漏れさせないでください。またネジ部やホース等の接続部に大きな力を加えないでください。接続部漏れ検査には、マッチ等の裸火を使用しないでください。気密の確認には漏れ検知液を使用してください。
- 火口への点火前に必ず酸素とアセチレンをしばらく放出してください。混合ガスが残っていると逆火のおそれがあります。
- 油およびグリスを使用しないでください。使用すると爆発、着火や火災の危険性があります。
- 本製品は慎重に取り扱ってください。吹管はハンマーとして使用または製品のスラグ落とし等には使用しないでください。
- メッキや塗料等が付いた鋼材の切断は有害ガスが発生するおそれがあるため、予防措置、防塵マスク着用等を行ってください。
- 作業終了時は、容器バルブを閉めてください。その後、風通しの良いところで酸素、燃料ガスの両方のホースを別々に空になるようガス抜きをしてください。
- 火口当たり部分が、切断器当たり受けに当たっていない状態でバックナットを締め付けた場合、切断器と火口の接続部よりガス漏れが発生し、逆火するおそれがあります。
- 外管締め付けナットを緩めたり、外したりしないでください。また、落下させると内管と外管のが変形して異常な火災となるおそれがあります。
- 急激に容器バルブを開けると圧力調整器が発火することがあります。
- 作業終了後、各バルブが開いた状態では、酸素および燃料ガスが供給された場合、生ガスが流出し事故の原因となります。
- 逆火の殆どは始業時に発生しています。よって、ガス置換は必ず行ってください。
- 逆火を放置したままにすると吹管が赤熱・溶損し、炎が吹き出したり、ゴムホースの爆発事故等を起こし非常に危険です。
- 続けて数回逆火した吹管は、損傷している場合があります。交換または修理してください。
- 塗料およびメッキ等が付いた鋼材の切断は有害ガスが発生する危険性があります。予防処置を講じてから作業を行ってください。
- 点火にマッチ等裸火を用いしないでください。手順を間違ったり専用ライター以外での点火は、逆火および火傷等の危険性があります。
- 火口と吹管の取付け部に火災が発生する吹管は使用しないでください。逆火が発生する危険性があります。
- 切断バルブを急激に開くと、溶融物（スパッタ）が跳ね返り火傷を負う原因になります。
- 吹管の移動速度が速すぎる場合、溶融物（スパッタ）が跳ね返り火傷を負う原因になります。
- 人体または衣服へ酸素を吹き付けしないでください。

#### 注意

- 吹管は慎重に取扱い、点火したまま放置したり、吹管を床の上や通路上に置かないでください。
- 点火状態で圧力調整器を操作しないでください。
- 使用後は必ず火口の穴を専用の掃除針を使用して清掃してください。
- 火口が過熱すると逆火を起こしやすくなるので、長時間作業するときは時折作業を中断し、消火した後燃料ガスバルブは閉じたまま酸素をわずかに出しながら水中に浸け冷却してください。
- 作業現場を離れる時は、容器バルブを閉じ圧力調整器のガスを放出してください。
- 消火する際は、次の順でおこなってください。
  - ・切断酸素バルブを閉じる。
  - ・予熱酸素バルブを閉じる。
  - ・燃料ガスバルブを閉じる。
- 容器を取り替えるときは、圧力調整器、吹管、ホースのガス抜きをした後、吹管のバルブは酸素、燃料ガスともに必ず締めてください。
- 安全および性能維持のため、保守点検は必ず行ってください。保守点検を怠りますと重大な人身事故が起こることがあります。
- 必ず付属している火口を使用してください。他社製火口との互換性がないため、使用しないでください。

2 各部の名称



3 仕様

■ 吹管

|        |           |                    |
|--------|-----------|--------------------|
| 品名     | 中型切断機     |                    |
| 型式     | CMS-7505  |                    |
| 全長     | 400mm     |                    |
| 使用ガス   | 酸素, アセチレン |                    |
| 使用ガス圧力 | 酸素        | 0.25, 0.3, 0.35Mpa |
|        | アセチレン     | 0.03Mpa            |
| 入口形状   | 酸素        | M16×1.5            |
|        | アセチレン     | M16×1.5            |

■ 火口

| 火口<br>(番号) | 切断範囲<br>(mm) | ガス圧力(Mpa) |       | ガス消費量(L/H) |      |       |
|------------|--------------|-----------|-------|------------|------|-------|
|            |              | 酸素        | アセチレン | 切断酸素       | 予熱酸素 | アセチレン |
| 1#         | 1~5          | 0.25      | 0.03  | 700        | 220  | 200   |
| 2#         | 5~15         | 0.3       | 0.03  | 1200       | 250  | 230   |
| 3#         | 15~30        | 0.35      | 0.03  | 2000       | 330  | 300   |

※ 商品改良の為、仕様・外観等を予告なく変更することがあります。この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。